

令和元年12月9日  
高校WG（第5回）  
資料1-2

中央教育審議会 初等中等教育分科会  
新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会  
新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ(第5回)

# 専門学科の在り方について

P-TECHに向けた

東京都立町田工業高等学校の取組



東京都立町田工業高等学校長  
山之口 和宏

日時：令和元年12月9日(月) 14:00-  
場所：文部科学省東館13階 13F1～3会議室

# 東京都立町田工業高等学校

## 【沿革】

昭和37(1962)年

機械科・電気科・工業化学科

3学科の工業高校として設置



平成13(2001)年

都立高校唯一の『**総合情報科**』

1学科の工業高校へ学科改編



# 東京都立町田工業高等学校

## 【沿革】

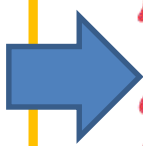
平成16(2004)年

「情報デザイン」

「アプリケーション」

「情報システム」

「電気システム」



情報テクノロジー系列

2020年4月新設

「機械システム」

の5系列に系列改編し、

情報技術に関連した

モノづくり、コトづくり人材を育成



## 【特徴的な取組】

### (1) Cisco Networking Academy 認定校



- シスコシステムズが提供するe-ラーニング学習環境
- 実機を使い、多くの生徒が高度で実践的な知識・技能を習得



# 東京都立町田工業高等学校

## 【特徴的な取組】

### (2) 町エグローバルITエンジニア育成プログラム

○ 2年生で開講する選択科目で実施

○ **国際理解**：独立行政法人  
国際協力機構(JICA)と連携



○ **ITの現状理解**：日本IBM様やシスコシステムズ様  
をはじめとする企業・団体を訪問



## 【特徴的な取組】

### (3) 海外スタディーツアー

○ (2) のプログラム参加者中心に、夏季休業中、ベトナム・ハノイで実施(4泊6日)

○多くの法人・企業からも支援

○学校との連携・交流も実施



# 東京都立町田工業高等学校







# 東京都立町田工業高等学校

## ○キムリエン高校との交流







# 日本版P-TECHに向けて

## 【令和元年度のパイロット事業】

### (1) IT講話

新入生へのオリエンテーション的な要素も含め、町田工業高校で学ぶITの知識・技能がこれからの社会にとってどのような意味を持つかを考えさせる。

### (2) メンタリングセッション

3～4名の少人数の生徒に1名の社員の方(メンター)が相談等に応じるメンタリング・セッションを、年間を通じて継続的・計画的に実施し、学習や仕事に対する意識を醸成し、向上させる。

### (3) 授業支援

情報システム系列の生徒が学ぶ4つの専門科目の授業で、それぞれの分野の専門家の社員の方に授業で直接指導していただく中で、教室での学びがIT実務とどうつながるのかを考えさせる。



# 日本版P-TECHに向けて

## (1) IT講話

日本IBM社員による講話(ITの基礎、最先端の技術と未来)  
スマートフォンを使ったアンケート(4/18)





# 日本版P-TECHに向けて

## (2) メンタリングセッション①

日本IBM社員によるメンタリング(4/17.5/15) 及び  
IBM本社 社会貢献担当役員の講演(5/15)





# 日本版P-TECHに向けて

## (2) メンタリングセッション②

日本IBM社員とのワークショップ(7/17)







# 日本版P-TECHに向けて

## (2) メンタリングセッション③

日本IBM本社への訪問(11/26)





# 日本版P-TECHに向けて

## (3) 授業支援

「ソフトウェア技術」 「ハードウェア技術」  
「ネットワーク技術」 「プログラミング演習」

日本IBM社員による授業

「ソフトウェア技術」(10/23) 及び 「ネットワーク技術」(10/30)







# 今後の展開にむけて

○専門学校、企業等と連携した継続的・計画的プログラム  
⇒ 学び続ける意欲とITの専門性を5年間で育成

○「ワークスペース・ラーニング」の継続的な導入  
⇒ IT人材として必須の社会人基礎力を育成

現在、都教育委員会で実施している検討委員会での議論を踏まえ、連携する三者が具体的な検討を進め5年間の教育プログラムを策定・実施

高度な専門知識・技能を備え、  
活かに溢れたプロフェッショナルの育成が実現

**各産業分野でも応用できるモデル的取組**